

給気口の種類

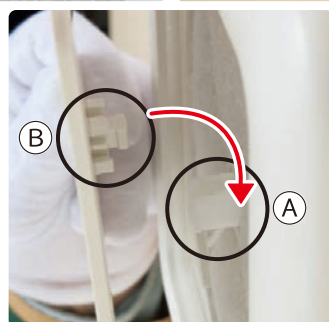
- ご自宅の給気口の種類(品番)をご確認ください。
- 給気口の品番は給気口の下部または正面のラベルに表示してあります。

三菱電機 P-13QU2 ▶ P14	ユニックス KRP-BWFH ▶ P15	パナソニック FY-DRV062TYW ▶ P16	パナソニック FY-GKF45LTYW FY-GKF45LTYC ▶ P17
			

KRP-BWFHのお手入れ方法

〔フィルターの交換目安〕 水洗い3～5回で交換要

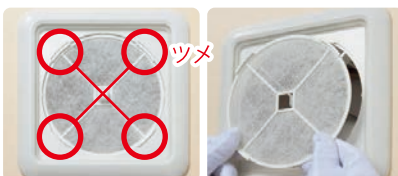
⑤ 風量調整板を取付けます。



①本体機構部心棒の溝に風量調整板裏面の②突起を上方向からスライドさせて、「パチン」と音がするまで確実にはめ込んでください。

⚠ 風量調整板中央の「PUSH」の向きに十分注意してください。

② フィルターを取りはずし、清掃します。



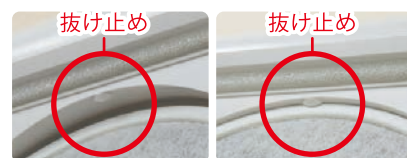
フィルターのツメに指を掛け、手前に引いて取りはずします。フィルターに付着したホコリを掃除機または水洗いで十分に落としてください。

⚠ フィルターを水洗いした場合はよく乾かしてください。熱湯で洗ったりもみ洗いは絶対におやめください。

③ 風量調整板と本体を清掃します。

中性洗剤を浸した雑巾で清掃し、から拭きをして水けをよく拭き取ります。

④ フィルターを取付けます。



フィルターのツメ(4か所)を本体溝に合わせ、抜け止め(4か所)に引っ掛かるまで押し込み装着してください。

⚠ フィルターがしっかり装着されていないと作動不良の原因となります。

① 風量調整板を取りはずします。



風量調整板を全開状態にして両脇を持ち、上方向にスライドさせて取りはずします。

交換フィルターは同封の「らいさぽ秋号」P11でお買い求めいただけます。

給気口のお手入れ

給気口は室外からのホコリや花粉、虫の侵入を防ぎ、快適な室内環境を維持していくためのものです。給気口のフィルターが汚れてしまうと給気能力の低下の原因になります。フィルターは地域環境や季節によって汚れたが異なりますが、普段のお手入れと定期的な部品交換をすることで、いつも心地よい家が保てます。給気口のお手入れは、高い所での作業となりますので、足場には十分お気を。風雨の強い日は、給気口を閉めて雨水の浸入を防ぎましょう！



〔技術監修〕 植月 英貴
トヨタホーム
アフターサービス担当DIYアドバイザー

〔用意するもの〕 手袋、ゴム手袋、中性洗剤、雑巾、掃除機、脚立

P-13QU2のお手入れ方法

〔フィルターの交換目安〕 水洗い5～6回で交換要

⑤ 最後にフィルターを、写真③のようにフィルターパネル端面の下に押し込んでください。



⚠ フィルターを入れ忘れますと壁が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないよう十分注意してください。

⑥ 前パネルを清掃し取付けます。



前パネルは、中性洗剤を浸した雑巾で清掃し、から拭きして水けをよく拭き取ります。前パネルの上側の引掛部に引っ掛けた後、下側のツメにはめ込みます。

⚠ お手入れに下記の溶剤を使用しないでください。シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ性洗剤・化学雑巾の薬剤(変質・変色する原因となります)。

③ フィルターを清掃します。(フィルターは再生タイプです)



フィルターの清掃は、軽く手でたたかまたは、掃除機でホコリを吸い取ってください。汚れのひどい場合は、水または、ぬるま湯に、中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かしてください。

⚠ フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いをするのは絶対におやめください。

④ フィルターの、上下を確認し取付けます。



フィルターには、写真①のように凹部(①～④)があります。写真②のフィルターパネルの凸部(①～④)にはまるようにつけてください。

① 前パネルをはずします。



前パネルの下側2か所のツメをはずすように下側を手前に引き、上側の引掛部からはずします。

② フィルターパネルよりフィルターを取り出します。



交換フィルターは同封の「らいさぽ秋号」P11でお買い求めいただけます。

FY-GKF45LTYW／FY-GKF45LTYCのお手入れ方法

〔フィルターの交換目安〕

6ヶ月に1回程度掃除機等でホコリを取り除き、
1～2年で交換要(お手入れの際、フィルター**水洗い不可**)



5 本体を清掃します。



本体を壁に取付けたまま、本体などのホコリを掃除機で吸い取ります。
台所用中性洗剤を浸した雑巾で拭き取ったあと、から拭きをして水けをよく拭き取ります。

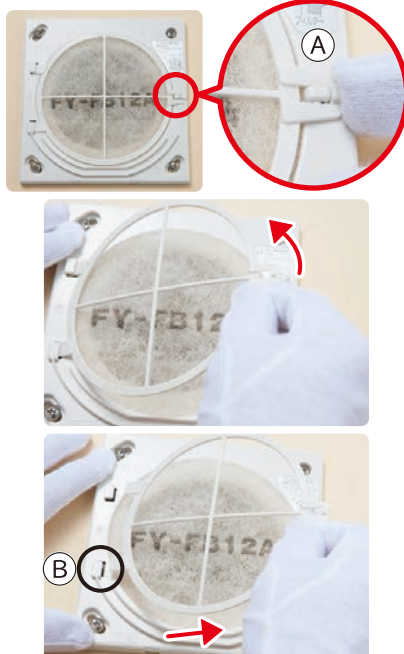
6 給気清浄フィルターとルーバーを取付けます。



給気清浄フィルターのはずしかたと逆の順序で給気清浄フィルターを取付けます。
フィルター押さえは確実にツメ受けに挿入し、ツメ掛けに引っ掛けてください。
ルーバーの「下側」表示と、本体の「下側」表示を合わせて、ルーバーを最後まで確実に押し込みます。
シャッター操作レバーを操作してシャッターを開けます。

給気清浄フィルターの品番が見えるように取付けてください。

3 給気清浄フィルターをはずします。



①のフィルター押さえのツメを手前に引き、ツメ掛けからはずします。
フィルター押さえを矢印方向に引き、②のツメ受けから取りはずします。
給気清浄フィルターの上部をつまんで取りはずします。

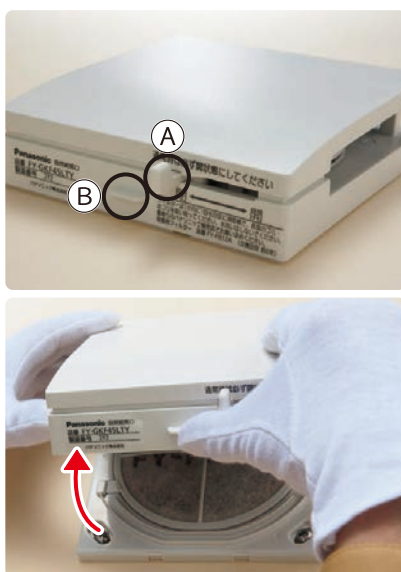
4 給気清浄フィルターを清掃します。



掃除機でフィルター表面のゴミ・ホコリ・虫などを吸い取ります。

水洗いはしないでください!
「カテキン」は水溶性のため、水洗いすると、機能が低下します。
※給気清浄フィルターは、表面が少し茶色に見えます。また、ニオイがすることがありますが無害です(カテキン、アレルバスターなどの付着によるものです)。
※水洗いした場合、水が茶色に変色します。

1 ルーバーを取りはずします。



①のシャッターを閉じます。
ルーバーの②の取っ手に指を引っ掛け、ルーバーを落下させないように手をそえて手前に引いてはずします。

シャッター操作レバーをつかんだり、ルーバーの開口に手をかけてルーバーをはずさないでください。破損の原因となります。

2 ルーバーを清掃します。



ルーバー裏面のシャッターや周囲のホコリを掃除機で吸い取ります。
台所用中性洗剤を浸した雑巾でルーバー表面の汚れを拭き取ったあと、から拭きをして水けをよく拭き取ります。

ルーバーは分解しないでください。破損の原因となります。

交換フィルターは同封の「らいさぽ秋号」P11でお買い求めいただけます。

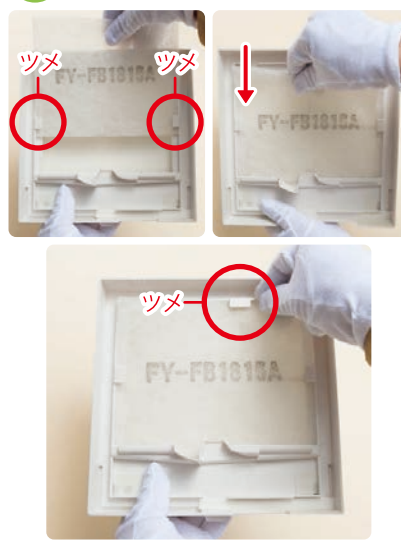
FY-DRV062TYWのお手入れ方法

〔フィルターの交換目安〕

6ヶ月に1回程度掃除機等でホコリを取り除き、
1～2年で交換要(お手入れの際、フィルター**水洗い不可**)



5 給気清浄フィルターを取付けます。



ルーバー下側のガイドに給気清浄フィルターをはめ込み、ツメ(3か所)にずれ、浮きがないように取付けます。
給気清浄フィルターは、品番が見えるように取付けてください。

給気清浄フィルターを入れ忘れると壁、天井が汚れる原因となりますので、給気清浄フィルターを入れ忘れないようにしてください。

6 ルーバーを取付けます。



ルーバーの取っ手を本体の「ルーバー取手側」表示に合わせて、ルーバー上端を本体上端に引っ掛けて、カチッと音がするまでルーバーを押してください。

3 ルーバーを清掃します。



ルーバーの表面を、水または中性洗剤を浸した雑巾で清掃し、から拭きをして水けをよく拭き取ります。

ルーバーは分解しないでください。破損の原因となります。

4 本体を清掃します。



本体のホコリを掃除機で吸い取ったあと、中性洗剤を浸した雑巾で汚れを拭き取り、から拭きをして、水けをよく拭き取ります。ドレン穴にホコリがたまっている場合、ブラシなどでお手入れしてください。

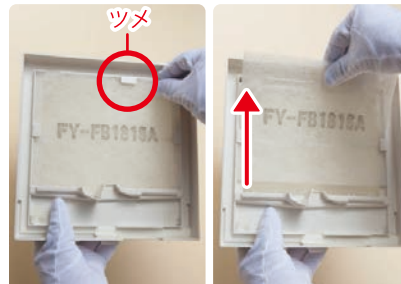
1 ルーバーを取りはずします。



ルーバーの取っ手に指を引っ掛け、ルーバーを手前に引きながら斜めに持ち上げてはずします。

ルーバーを落下させないように手をそえてください。
レバーをつかんだり、ルーバーの開口に手をかけてルーバーをはずさないでください。破損の原因となります。

2 給気清浄フィルターを取りはずし、清掃します。



給気清浄フィルターをつまんで上部のツメからはずし、そのまま上へ引きぬぎます。
掃除機で給気清浄フィルターの表面のゴミ・ホコリ・虫などを吸い取ります。

水洗いはしないでください!
「カテキン」は水溶性のため、水洗いすると、機能が低下します。

交換フィルターは同封の「らいさぽ秋号」P11でお買い求めいただけます。